

東京五輪事前キャンプ地 関 都市整備課 ☎45-8128 FAX43-2945

東京オリンピック2020のキャンプ候補地として登録



スケートパーク(B.E.step125-shimotsuma)

Waiwaiドームしもつまのスケートパーク(B.E.step125-shimotsuma-)が、東京オリンピック2020のキャンプ候補地として複数のサイトで掲載されています。併せて、「ビアスパークしもつま」も宿泊施設として掲載されています。

スケートボード競技は、東京大会から正式種目として追加される新種目で、今後、ますます注目が集まることが予想されます。競技は、街の中を滑るようなコースで

技を競う「ストリート」部門と複雑な形のコースで技を競う「パーク」部門の2部門で行われWaiwaiドームのスケートパークは2部門両方の特徴を兼ねたパークとなっています。一般社団法人日本ローラースポーツ連盟(JRSF)から、国際競技連盟(IF)が定める技術要件に適合していることの確認を受けており、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の公式サイトで、現在、スケートパークのキャンプ候補地として掲載されているのは、下妻市のみです。

また、パークでは、市内在住プロスケーターの吉川楓選手がオリンピック強化選手として活動しています。今後、アメリカ・ブラジルなどの強豪国や、アジア圏(日本国内、韓国、マレーシアなど)からキャンプに訪れる期待して、各方面に誘致活動を行っていきます。

周年事業 関 秘書課 ☎43-2112 FAX43-1960

市制施行65周年記念ロゴマーク デザインが決定しました



下妻市市制施行65周年記念ロゴマーク
制作者 松崎 玲菜さん 東部中学校3年

市は、今年の6月1日に市制施行65周年を迎えるにあたり、市制65周年記念ロゴマークのデザインを昨年夏に市内中学校生徒を対象に募集しました。

応募作品119点の中から審査委員会の審査の結果、上記の作品が選ばれました。決定されたデザインはデジタル化され、今後、市制65周年記念事業のシンボルとして使用するほか、広報紙・ホームページ・各種印刷物への掲載など幅広く発信し、「市制施行65周年」を多くの方にPRしていく予定です。

下妻ブランド 関 農政課 ☎44-0729 FAX43-3239

「下妻の新たな地酒発表会」開催

12月25日、小貝川ふれあい公園花畠から採取したポピー酵母と市内で生産された酒米「ひたち錦」からつくった下妻の新たな地酒が完成したことから、ビアスパークしもつまで発表会が開催されました。

地酒の名前は、一般公募で募集して、市内外から応募のあった114件の中から、市を代表する国蝶オムラサキがポピー畠を煌びやかに舞う様子をイメージして、「紫煌(しおう)」と名付けられました。

「紫煌」は、今後、「ふるさと納税」の返礼品や道の駅しもつま・下妻マルシェ・市内酒販売店などの取り扱い計画中で、菊池市長は「紫煌が市の新たな特産品として発展することを期待している」と話しました。



紫煌をPRするJA常総ひかり塚本理事長(左)と市長

有料広告欄

地域活性化 関 市民協働課 ☎43-2114 FAX43-1960

宝くじ助成事業でコミュニティ活動を推進【貝越自治会】

貝越自治会では、平成30年度の宝くじ助成を受けて、貝越公民館を新築。11月18日に76人が参加し、盛大に竣工式が行われました。

貝越自治会長の五十嵐勉さんは「貝越地区の皆さんのが理解ご協力により、公民館が建設できたことは大きな喜びです。きれいで、使いやすくなつたこの公民館を中心に、今後も地域コミュニティの活性化を推進していきたい」と語りました。

この助成は、宝くじの社会貢献事業としてコミュニティ活動に必要な施設、備品などを整備するために行われるもので、貝越自治会では、これまで以上のコミュニティ活動の活性化が期待されます。



新築された貝越公民館の前で記念撮影する地域の人々

防犯対策 関 消防交通課 ☎43-8309 FAX43-4214

茨城県防犯協会表彰受賞

10月10日、水戸市の県民文化センターにて、茨城県防犯協会、茨城県警察本部、茨城県の共催による「第40回地域安全茨城県民大会」が開催され、下妻市では、2人、2団体が表彰されました。

茨城県防犯協会表彰

■地域安全功労者 赤荻 浩さん(下妻地区防犯協会鷹波ノ江分会)

■地域安全特別功労団体 塚田建材株式会社

■地域安全功労団体 小野子町内防犯パトロール隊

■優良防犯連絡員 青木 武夫さん(下妻地区防犯協会高道祖分会)

温かい善意ありがとうございます

■下妻市ネットワーカー等連絡協議会より 絵本、紙芝居、DVD寄贈



ひろせ かずえ 広瀬一江副会長(左)と小竹浩子会長(中左)から寄贈品を受け取る菊池市長(中右)と横瀬教育長(右)

12月4日、下妻市ネットワーカー等連絡協議会(小竹浩子会長)より市内公立6幼稚園(大宝、騰波ノ江、上妻、豊加美、高道祖、ちよかわ)に絵本や紙芝居、DVDなど42点が寄贈されました。

同協議会は、毎年5月に鬼怒フラワーラインで開催される「花とふれあいまつり」の会場で、「花の福祉募金」への協力を呼び掛け、皆さまからご協力いただいた募金を主に福祉事業のために役立てています。



受賞式に参加した防犯団体の人々

有料広告欄